

衛研第2 - 25号
平成29年 9月20日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 注目すべき疾患 - 腸管出血性大腸菌感染症 -
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 結核の届出状況（月報）
6. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
7. 全国及び関東情報
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 37 週（平成 29 年 9 月 11 日～平成 29 年 9 月 17 日）

今週の注目される疾患

図は 次ページを参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢 1 人、腸管出血性大腸菌感染症 9 人の届出があった（図 1）。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、レジオネラ症 3 人の届出があった。五類感染症は、急性脳炎 3 人、後天性免疫不全症候群 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、水痘（入院例）2 人、梅毒 11 人、播種性クリプトコックス症 1 人の届出があり、梅毒は前週 1 人から大きく増加した。

定点把握対象疾患では、RSウイルス感染症（2.96 2.79：図 2）の定点当たり報告数は 2 週連続で減少したが、依然高い水準である。保健所別では、幸手（6.00）、加須（4.00）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳以下で全体の 70.0%を占めている。夏型感染症では、手足口病（8.36 8.06：図 3）の定点当たり報告数は前週と同水準で、過去 4 年の同時期より多い。保健所別では、草加（11.20）、川口（10.47）、朝霞（10.13）保健所管内からの報告が多い。ヘルパンギーナ（1.85 2.01）の定点当たり報告数は前週よりわずかに増加した。保健所別では、川口（4.47）、朝霞（3.27）、春日部（3.00）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、流行性角結膜炎（1.56 1.78：図 4）の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、保健所別では、熊谷（8.50 12.50）保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、15-19 歳を除いた全ての階級から報告があった。基幹定点報告対象疾患では、マイコプラズマ肺炎 2 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	細菌性赤痢	1 人（病原体 <i>S. flexneri</i> ）
	腸管出血性大腸菌感染症	9 人（類型 患者 5 人、無症状病原体保有者 4 人、血清型 O157 7 人、O111 2 人）
四類感染症	E 型肝炎	1 人（推定感染地域 国内）
	レジオネラ症	3 人（病型 肺炎型 3 人）
五類感染症	急性脳炎	3 人（病原体 単純ヘルペスウイルス 1 人、不明 2 人）
	後天性免疫不全症候群	2 人（病型 無症状病原体保有者 2 人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
	水痘（入院例）	2 人（病型 臨床診断例 2 人）
	梅毒	11 人（病型 早期顕症 期 5 人、早期顕症 期 4 人、無症状病原体保有者 2 人）
	播種性クリプトコックス症	1 人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議（感染症疫学情報担当） TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

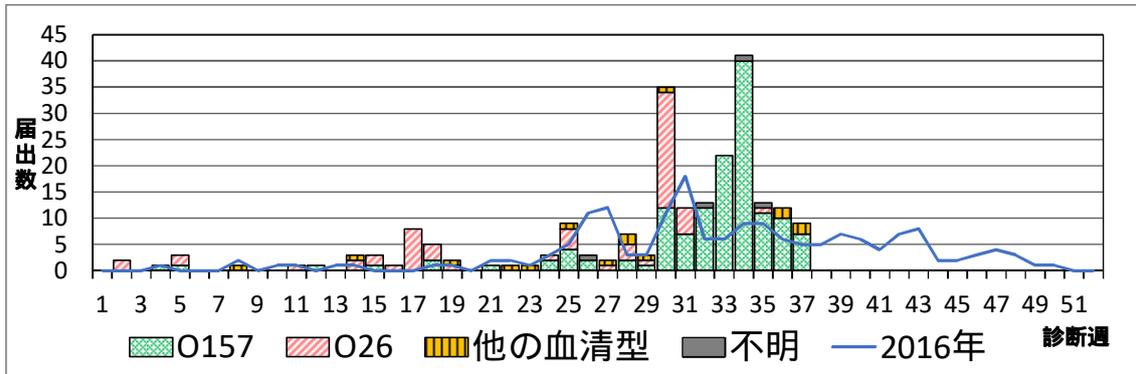
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>）で御覧になれます。

<今週の注目される全数把握対象疾患 - 腸管出血性大腸菌感染症 - >

第37週は9人の報告があり、そのうちの7人から0157が検出されている。0157は第34週(8月21日~27日)をピークに減少の傾向にあるが、今しばらくは注意が必要である。

図1 腸管出血性大腸菌感染症 血清型別



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 RSウイルス感染症

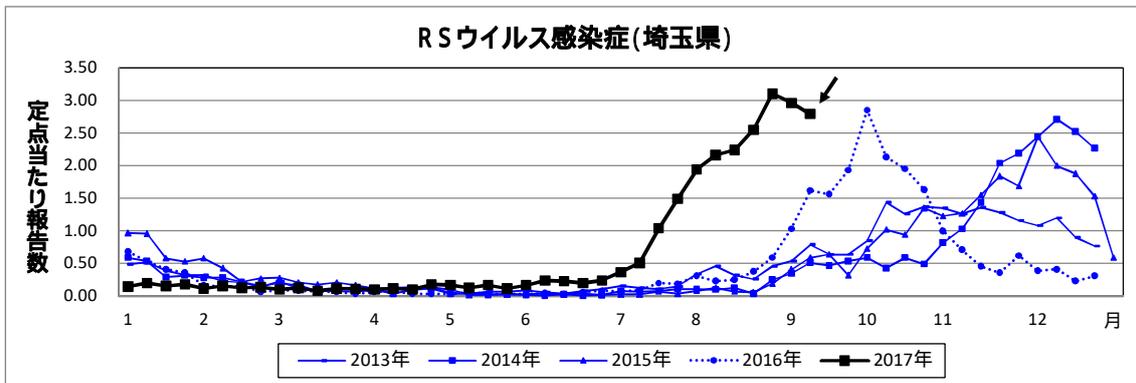


図3 手足口病

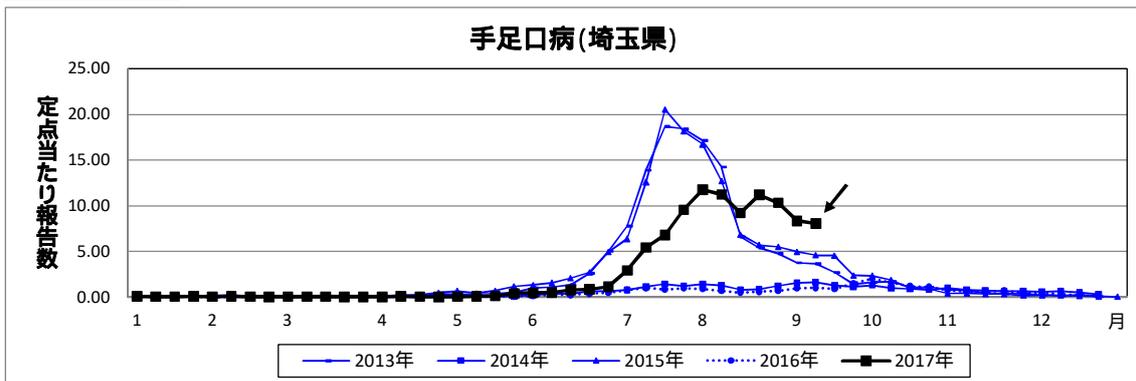
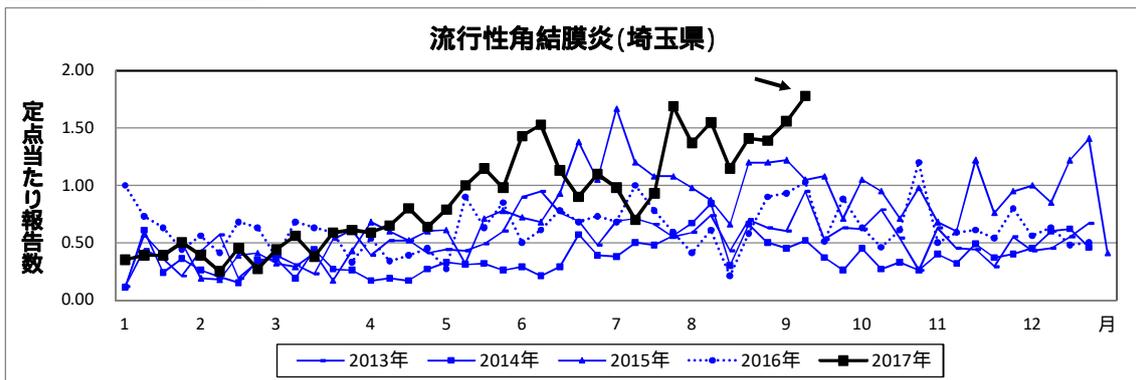


図4 流行性角結膜炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第37週)

(2017年9月19日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢	1	5	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	9	218			
四類感染症					
E型肝炎	1	15	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		12	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	67
つつが虫病			レプトスピラ症		2
デング熱		9	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		37	侵襲性肺炎球菌感染症	1	94
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		8	水痘*	2	12
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		42	先天性風しん症候群		
急性脳炎	3	34	梅毒	11	152
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症	1	2
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		15	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	25	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症			風しん		5
侵襲性インフルエンザ菌感染症		13	麻しん		4
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		7
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	5	3		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(8月分)

8月の届出総数は、患者74人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者39人の計114人で、患者数は前月より減少し、前年の同月と比較しても少なかった。無症状病原体保有者の数は前月より増加したが、前年の同月とは同水準であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2016年8月～2017年8月)

	2016年*					2017年								累計**
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
総計	129	132	119	82	111	101	105	103	100	120	115	108	114	866
年齢階級														
10歳未満	2	7	3	1	4	0	2	2	4	5	2	4	6	25
10歳代	3	1	2	1	0	1	1	2	0	3	0	1	5	13
20歳代	11	7	11	9	9	7	7	7	10	9	9	10	8	67
30歳代	14	14	7	7	10	12	6	6	7	14	8	9	5	67
40歳代	17	10	10	10	13	6	15	10	7	13	8	12	15	86
50歳代	13	24	19	13	17	8	6	9	13	8	14	11	6	75
60歳代	20	20	17	9	18	25	21	18	12	19	19	11	17	142
70歳代	25	19	27	11	20	20	18	26	18	18	22	24	17	163
80歳以上	24	30	23	21	20	22	29	23	29	31	33	26	35	228
性														
男	72	81	72	45	77	70	62	62	64	75	67	63	60	523
女	57	51	47	37	34	31	43	41	36	45	48	45	54	343
類型														
患者	92	100	74	55	64	75	77	76	67	89	79	81	74	618
感染症死亡者の死体	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	0	0	3	1	0	2	2	0	1	3	1	10
無症状病原体保有者	37	32	44	27	44	25	28	25	31	31	35	24	39	238
病型														
肺結核	74	75	56	38	50	55	58	57	50	63	66	58	52	459
肺結核及びその他の結核	2	5	5	3	2	5	4	6	6	8	4	3	6	42
その他の結核	16	20	14	14	12	15	15	13	11	18	9	20	16	117
疑似症患者	0	0	0	0	3	1	0	2	2	0	1	3	1	10
無症状病原体保有者	37	32	44	27	44	25	28	25	31	31	35	24	39	238

*:2016年の届出数は暫定値

** :2017年1月からの累積届出数

8月に診断された114人を病型別にみると、肺結核ではすべての年齢階級から計52人の報告があり、80歳以上が23人で最も多かった。無症状病原体保有者でもすべての年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2017年8月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	52	6	16	1	39	114
年齢階級						
10歳未満	1	0	0	0	5	6
10歳代	1	0	1	0	3	5
20歳代	3	1	1	0	3	8
30歳代	1	1	1	0	2	5
40歳代	7	1	1	0	6	15
50歳代	3	0	0	0	3	6
60歳代	5	1	2	1	8	17
70歳代	8	1	3	0	5	17
80歳以上	23	1	7	0	4	35

保健所	報告患者数										保健所別		平成29年9月11日～平成29年9月17日									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)	
全	77	443	92	274	615	40	1,282	15	65	-	319	41	-	73	-	-	-	2	-	-	-	
川	0.31	2.79	0.58	1.72	3.87	0.25	8.06	0.09	0.41	-	2.01	0.26	-	1.78	-	-	0.20	-	-	-	-	
朝	6	60	21	58	101	2	178	3	7	-	76	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	
朝	0.23	3.53	1.24	3.41	5.94	0.12	10.47	0.18	0.41	-	4.47	0.12	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
朝	-	54	7	36	61	1	152	1	5	-	49	11	-	11	-	-	-	-	-	-	-	
朝	-	3.60	0.47	2.40	4.07	0.07	10.13	0.07	0.33	-	3.27	0.73	-	2.75	-	-	-	-	-	-	-	
鴻	37	36	6	13	41	1	64	3	5	-	3	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	
鴻	1.95	3.00	0.50	1.08	3.42	0.08	5.33	0.25	0.42	-	0.25	0.08	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-	
東	-	3	1	3	11	-	16	-	1	-	2	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
東	-	0.60	0.20	0.60	2.20	-	3.20	-	0.20	-	0.40	0.60	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	
秩	-	4	-	1	1	-	7	-	2	-	4	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-	
秩	-	1.33	-	0.33	0.33	-	2.33	-	0.67	-	1.33	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-	
本	-	9	2	4	-	-	10	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
本	-	2.25	0.50	1.00	-	-	2.50	-	-	-	0.50	0.25	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
熊	7	23	7	15	49	1	58	2	1	-	21	4	-	25	-	-	-	-	-	-	-	
熊	0.50	2.56	0.78	1.67	5.44	0.11	6.44	0.22	0.11	-	2.33	0.44	-	12.50	-	-	-	-	-	-	-	
加	6	24	2	3	-	-	39	-	1	-	10	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
加	0.60	4.00	0.33	0.50	-	-	6.50	-	0.17	-	1.67	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
春	1	4	4	26	20	9	54	-	5	-	18	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
春	0.10	0.67	0.67	4.33	3.33	1.50	9.00	-	0.83	-	3.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
幸	2	54	3	17	17	3	69	-	3	-	9	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
幸	0.14	6.00	0.33	1.89	1.89	0.33	7.67	-	0.33	-	1.00	0.11	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	
坂	2	18	2	9	35	-	42	-	2	-	5	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
坂	0.20	3.00	0.33	1.50	5.83	-	7.00	-	0.33	-	0.83	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
草	-	26	8	9	43	2	112	1	5	-	14	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草	-	2.60	0.80	0.90	4.30	0.20	11.20	0.10	0.50	-	1.40	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
狭	1	45	8	27	56	5	110	3	3	-	13	5	-	12	-	-	-	-	-	-	-	
狭	0.04	3.00	0.53	1.80	3.73	0.33	7.33	0.20	0.20	-	0.87	0.33	-	2.40	-	-	-	-	-	-	-	
川	4	13	5	9	16	1	59	-	3	-	13	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
川	0.31	1.63	0.63	1.13	2.00	0.13	7.38	-	0.38	-	1.63	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	
越	-	10	7	4	7	3	66	-	5	-	12	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
越	-	1.25	0.88	0.50	0.88	0.38	8.25	-	0.63	-	1.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	
さい	11	60	9	40	157	12	246	2	17	-	68	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	
さい	0.28	2.31	0.35	1.54	6.04	0.46	9.46	0.08	0.65	-	2.62	0.04	-	0.88	-	-	-	-	-	-	-	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 9月 19日 17:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第37週 平成29年9月11日～平成29年9月17日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	77	-	2	5	5	8	3	7	10	9	8	2	6	2	4	4	1	-	1	-	-
RSウイルス感染症	443	57	95	158	74	38	15	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	92	1	4	13	8	18	13	12	9	3	4	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	274	1	1	8	20	23	28	47	37	33	15	15	26	5	15	15	26	67	26	43	43
感染性胃腸炎	40	-	3	9	3	5	3	5	4	3	-	1	3	-	1	3	-	-	-	-	-
手足口病	1,282	10	108	393	248	180	147	84	42	19	9	10	19	2	11	2	11	2	11	2	11
伝染性紅斑	15	-	1	-	2	2	-	5	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	65	1	31	25	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	319	1	32	79	59	49	42	22	13	8	4	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	41	-	-	1	2	5	7	9	3	3	2	3	3	1	2	2	2	3	1	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	73	1	1	2	5	4	4	4	2	1	4	2	5	-	8	11	8	3	6	6	2
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 35週

(8月28日～9月3日)

平成29年9月20日

インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.28)、石川県(0.83)、島根県(0.79)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は30例と前週と比較して増加し、15都道府県から報告があった。

RSウイルス感染症の報告数は10,189例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.11)、鳥取県(1.68)、沖縄県(1.68)、宮崎県(1.36)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(3.05)、山形県(2.07)、島根県(2.00)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(8.58)、宮崎県(7.64)、愛媛県(5.97)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は青森県(0.69)、岡山県(0.37)、熊本県(0.36)である。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は長野県(16.07)、福島県(15.24)、宮城県(13.93)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は山形県(0.67)、岩手県(0.40)、石川県(0.24)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(1.46)、長野県(1.43)、鹿児島県(1.37)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(2.63)、石川県(1.00)、香川県(0.80)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。4都道県から4例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(2例)であった。

<関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、群馬県(3.88)、東京都(3.18)、埼玉県(3.10)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



		平成29年 35週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	826	174	31	18	1	23	21	58	22
	定点当たり	0.17	0.12	0.26	0.24	0.01	0.09	0.10	0.14	0.07
RSウイルス感染症	報告数	10,189	2,619	165	124	225	505	313	820	467
	定点当たり	3.23	2.77	2.20	2.58	3.88	3.10	2.37	3.18	2.20
咽頭結膜熱	報告数	1,525	376	23	9	35	78	57	121	53
	定点当たり	0.48	0.40	0.31	0.19	0.60	0.48	0.43	0.47	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,831	1,180	64	35	107	212	168	276	318
	定点当たり	1.22	1.25	0.85	0.73	1.84	1.30	1.27	1.07	1.50
感染性胃腸炎	報告数	10,637	3,023	231	69	201	593	375	872	682
	定点当たり	3.37	3.20	3.08	1.44	3.47	3.64	2.84	3.38	3.22
水痘	報告数	630	157	15	17	6	35	16	34	34
	定点当たり	0.20	0.17	0.20	0.35	0.10	0.21	0.12	0.13	0.16
手足口病	報告数	17,580	7,994	820	445	324	1,683	931	2,162	1,629
	定点当たり	5.58	8.45	10.93	9.27	5.59	10.33	7.05	8.38	7.68
伝染性紅斑	報告数	222	94	3	4	7	16	26	15	23
	定点当たり	0.07	0.10	0.04	0.08	0.12	0.10	0.20	0.06	0.11
突発性発しん	報告数	1,451	466	28	17	25	98	47	137	114
	定点当たり	0.46	0.49	0.37	0.35	0.43	0.60	0.36	0.53	0.54
百日咳	報告数	25	3	-	-	1	1	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	0.02	0.01	-	-	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4,442	1,709	114	65	104	307	305	438	376
	定点当たり	1.41	1.81	1.52	1.35	1.79	1.88	2.31	1.70	1.77
流行性耳下腺炎	報告数	1,148	254	10	22	34	50	34	46	58
	定点当たり	0.36	0.27	0.13	0.46	0.59	0.31	0.26	0.18	0.27
急性出血性結膜炎	報告数	5	3	-	-	-	-	2	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.06	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	693	256	21	9	24	57	39	30	76
	定点当たり	1.00	1.23	1.24	0.75	1.71	1.39	1.11	0.81	1.46
細菌性髄膜炎 #2	報告数	20	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.04	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	18	2	-	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.04	0.02	-	-	-	0.20	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	155	25	3	3	4	2	4	6	3
	定点当たり	0.32	0.30	0.23	0.43	0.50	0.20	0.44	0.24	0.30
クラミジア肺炎 #3	報告数	5	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2017年 > 感染症の流行状況 2017年 第37週

感染症発生動向調査 2017年

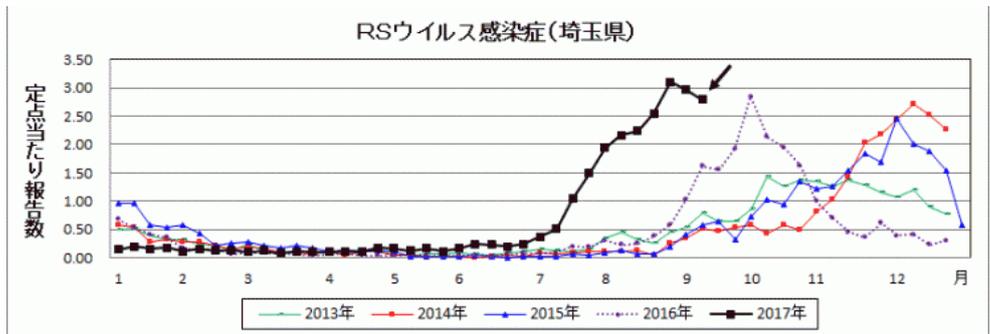
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第29週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第30週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第31週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第32週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第33週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第34週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第35週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第36週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第37週](#)

感染症の流行状況 2017年 第37週

2017年第37週（平成29年9月11日～9月17日）の要点 平成29年9月20日

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、2週連続で減少しましたが、依然高い水準となっています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	ヘルパンギーナ	↑	★★
感染性胃腸炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
水痘（みずぼうそう）	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★★	流行性角結膜炎	↑	★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン